

ポケットコイル座面の 脚が伸ばせるレバー式 高座椅子 YC-5008

組立・取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は組立式です。必ず組立手順、組立上の注意事項などの指示に従って組立を行ってください。また、ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

警告…人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意…人が傷害を負う可能性及び物質損害のみの発生が想定される内容

- バランスをくずすと後方に転倒する場合がありますので、十分注意してください。
- 座面前方に極端に体重を掛けると、転倒する場合がありますので、十分注意してください。

注意

組立上の注意

- 布やダンボール等を敷き、その上で作業する 床に傷がつく恐れがあります。
- 組立は、平らなところで行う 転倒してけがの原因になります。
- 組立時は、保護手袋を着用する 素手で取り扱うとけがをする原因になります。
- 組立時は、乳幼児をそばに近づけない 小さな部品などを誤飲する原因になります。
- 包装資材は、お住まいの地域の自治体のルールに従って廃棄してください。

警告

使用上の警告

- 同時に二人以上で座らない 製品が破損してけがなどの原因になります。
- 耐荷重を超えて使用しない 製品が破損してけがなどの原因になります。
- ボルトがゆるんだまま使用しない 製品が破損してけがなどの原因になります。
- 座面の上に立ったり、踏台として使用しない 転倒してけがの原因になります。
- 肘掛けや背もたれの上に掛けたり、シート（座面）の一部だけに座らない、荷重をかけない。転倒してけがの原因になります。
- 座った状態で椅子を傾けない 転倒してけがの原因になります。
- 椅子は座る目的以外には使用しない。
- 椅子の背もたれを倒すときは、下に人がいないこと、物がないことを確認してから倒す。けがの原因になります。
- 平らでない床や面、傾斜角度の大きい場所では使用しない 転倒してけがの原因になります。
- 保護者の目の届かないところでお子様ひとりでは使わせない けがの原因になります。
- 異常があるまま使用しない 製品が破損してけがなどの原因になります。

注意

使用上の注意

- 一般家庭用のため、業務用には使用しない 製品が破損してけがなどの原因になります。
- 直射日光、高温多湿を避ける 製品の劣化や変色の原因になります。
- マット等を敷いて使用する 床に傷がつく場合があります。
- 移動する時は、引きずらない 製品に無理な力がかかり、破損の原因になります。
- 室内用製品のため、屋外では使用しない 製品の劣化や変色の原因になります。
- 商品開封直後の製品のゆがみが気になる場合は、風通しのよい場所で陰干したり、換気をこまめに行う。

お手入れ 点検方法

- 著しい汚れは、うすめた中性洗剤を浸した柔らかい布をかたくしぼって汚れをふき取り、から拭きをする。
- みがき粉、アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。変色の原因になります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- 定期的にボルトのゆるみを点検し、必要に応じて増し締める。

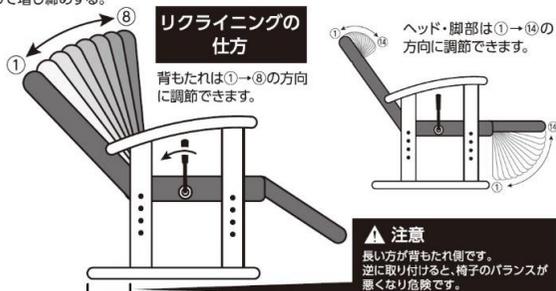
外形寸法(約)	幅 : 570mm 奥行 : 725~1370mm(リクライニングによる) 高さ : 790~1095mm(リクライニングによる) 座面の高さ(3段階) : 385・425・465mm
構造部材	金属(鋼)、天然木
表面加工	ポリエステル樹脂塗装
張り材	ポリエステル100%(表地、裏地)
クッション材	ウレタンフォーム、鋼製ばね
リクライニング	ヘッド・脚部:14段ギア、背部:8段レバー式ギア

取扱い上の注意
・直射日光、高温多湿を避ける。

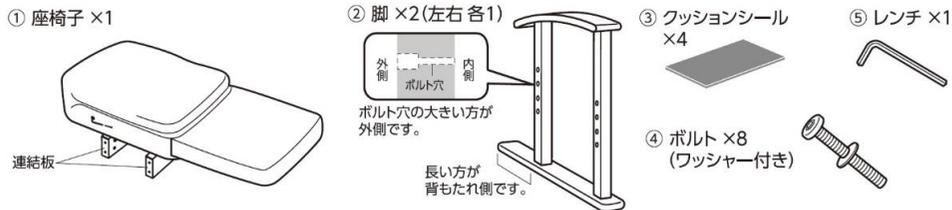
耐荷重(静荷重) **最大 80kg** YC-5008

JAN:4920501506558

※製品の仕様および外観は、改良などの理由で予告なく変更することがあります。 株式会社 コメリ 〒950-1492 新潟県新潟市南区清水4501-1 Tel.025-371-4805 Made in China

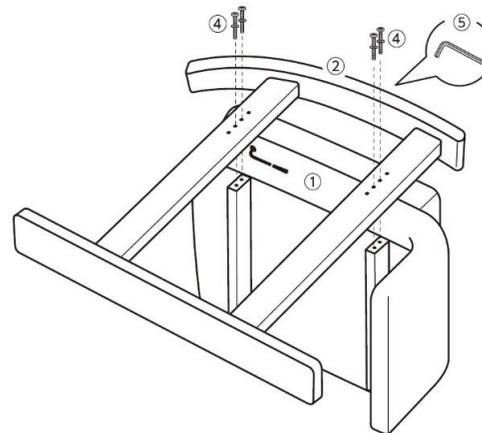


部品一覧 ※組立前に、各部品・部材がそろっていることをご確認ください。

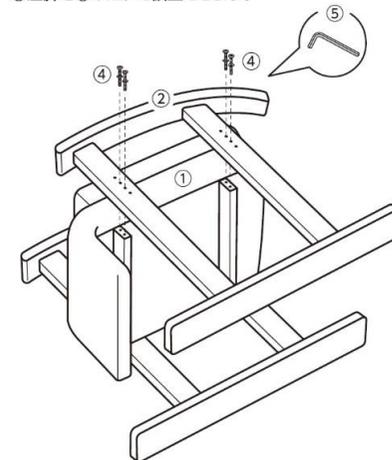


組立方法 ※床に傷が付かないように、布やダンボール等を敷き、その上で作業してください。 ※組立て時のボルトは仮止めておき、最後にしっかり締めなおしてください。

1 座面の高さを決め、①座椅子の連結板に④ボルトで②右脚を仮止めます。(⑤レンチ使用) ※必ず、片脚を4本のボルトで下図のように取り付けてください。



2 ①で組み立てた①座椅子に、②左脚を④ボルトで仮止めます。



3 各ボルトをしっかり締め、全体にグラつきやガタつきがないことを確認してから、脚の裏に④クッションシールを貼ってください。①座椅子の背もたれを起こして完成です。

